

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年10月7日(金) NO18 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

全力で歌おう

一年生の合唱コンクールリハーサルが木曜日、2、3年生が金曜日に行われました。文化祭と言えば合唱に英語弁論、学年劇、絵画や習字の展覧など多彩なはずなのですが、ここ数年は合唱をやるので精いっぱいです。学級の全員が心を一つにして歌を歌うことはとても意味があると思います。まずは、素晴らしいハーモニーを奏でるために全員の気持ちが一つになるということ。そのために、朝夕の時間を共有するという。このことにはとても意味があります。私が担任をしていた時も、「男子が歌ってくれません」とか「時間になってもそろいません」とかいう愚痴や文句をよく耳にしました。とても懐かしく思いますけど、こんな経験はとても大切で、そういうマイナスのことから始まって、クラスはまとまりを見せていくのだと思います。一年生は二年生の歌声に後ずさりをし、二年生は三年生の歌声に鳥肌がたつ。そうなるのがベストです。朝昼放課後を使って教室や体育館、その他広いスペースを使って学級ごとの練習がありますが、合唱コンクール当日に一番ベストの状態に臨めるように練習を積み上げることも大事なことです。

私が担任をしていた時は、小さな鍵盤ハーモニカを教室に持ち込んで練習する人がいましたが、今は個人で大きなキーボードを購入し、本格的に練習する先生もいます。それだけ合唱の練習にはクラスの結束力を高める効果があると確信しているからだだと思います。あまりやりすぎるのも飽きてきたり集中できなかつたりしますから、どこにピークを合わせるかも難しいことのように思います。今日7日(金)にとっても楽しみにしていた3年生のリハーサルを聞いてきました。課題曲のアカペラで歌う「ふるさと」は私が以前勤務していた20年ほど前からずっと同じです。歌った記憶のある保護者もいらっしゃるでしょう。3年生の歌には色々な人の思いがこもっていると思います。3年生の先生方やこれまで育ててくれた保護者の思い。それらをすべて背負って魂を込めて歌ってほしいと思います。歌には力があります。私も色々な学校を回ってきましたが、卒業式の時「旅立ちの日に」というあの曲を聞くと「中学校の教員でよかった」と思いつつ、一年間の苦勞がすべて吹き飛ばすような気がします。生徒の皆さんが今一生懸命歌っている姿は、すべてがプラスになります。全力で歌いましょう。合唱コンクールは10月20日(木)です。